

主催者挨拶

大学評価コンソーシアム 代表幹事

(九州大学 基幹教育院 准教授)

小湊 卓夫

皆さん、こんにちは。大学評価コンソーシアムの代表幹事を務めております、九州大学の小湊と申します。今日はよろしく願いいたします。先ほどもちょっと外に出たんですが、空気がむっとして重いという中、お集まりいただいて本当に感謝を申し上げます。今回、立命館大学、特に大阪いばらきキャンパスをお借りさせていただくことができました。こういう素晴らしい環境のキャンパスをお借り出来ただけではなく、実際に準備にもいろいろと深く関わっていただいたということで、まずはこの場を借りて立命館大学さんにお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。このような天候ですので、きょうは外に出ることは基本的にはありませんから、リラックスした雰囲気の下、きょうのワークショップ、そして明日の課題を通じた意見交換等々を専念してやっていただきたいと思います。

実はこの大学評価コンソーシアムの始まりであります、大学評価担当者集会が、今回 10 回目を迎えました。国立大学の話ですけれども、当初は法人化した後、どのように法人評価に対処していくのかということ、各大学がいろいろ悩みながら動いていた時期がありました。大学の中でもこの評価担当者というのは、それまでやったことない人たちが大半でしたから、横のつながりを持ちお互い知恵を出し合って協力していこう、という趣旨の下に、九州大学で声を発して始まったというのが最初のいきさつです。その辺につきましてもまた後で説明が少しあるかもしれませんが、10年たって、かなり組織規模も大きくなり、今回の担当者集会も3日で全部定員を埋めてしまうというぐらいに、アナウンスはほとんどしてないんですけれども、口伝で広がっているようです。ということはやはりそれだけニーズがあるんだろうと思っています。なるべく私たちもそういうニーズに応える形で、毎年企画を立案していくつもりではありますけれども、今回の企画を通じてまた皆さまがたからご意見いただければと思います。そういう形でお互い議論し合いながら、会の中身を充実させていくことができれば幸いです。明日まで1日半のちょっと長距離の集会にはなりますが、どうぞよろしく願いいたします。